

編集後記

正木先生からの第3回ローザンヌ世界宣教会議の報告は、諸教会の間の協力の大切さを強く意識させる内容でした。東日本大震災における世界各国からの支援や協力、震災復興における日本国内の諸教会や信徒の協力の広がりは、宣教協力だけでなく、教会間の相互の支え合いの可能性を感じさせます。現代のKGKの存在も、キリスト者の使命と役割を考える上で貴重な働きを担っていると思います。希薄になりつつある人間関係において、その中で苦悩する人々へのアプローチとして、カウンセリングの必要性は高まっています。吉澤先生や東先生の貴重な投稿を感謝いたします。中部部会理事長として、会をまとめ、指導し、福音主義神学会の歴史と歩みに意義を見出す巻頭言をお書き下さった安村先生や、プロテstantt教会と信仰の誕生に大きな足跡を残したルターに目を向けて下さった松浦先生にも感謝いたします。

ルターによる宗教改革から500年を数えようとするこの頃、この部会報が読者の皆さんに、信仰の恵みと祝福をお届けできる手助けとなりますように、会員一同願っております。これを機会に、是非、読者の皆さんにも会員になっていただいて、中部部会から皆さまの思い、学び、提言など、福音に関する知恵や祝福を発信してはいかがでしょうか。会員登録を受け付けておりますので、お申し出ください。

次回の部会報をより良くするために、皆さまからのご意見やご要望など、お待ちしております。
(D. H.)

日本福音主義神学会中部陪会報 第12号

2012年5月14日発行

編集者 檀原久由、東 正明

発行者 安村 仁志

発行所 460-0022

名古屋市中区金山2-1-3

金山クリスチャンセンター内

日本福音主義神学会中部陪会

TEL/FAX 052-321-7516

郵便振替 「福音主義神学会・中部」

00850-8-84195